

資料編

1 実施事業一覧（年度実績）

(1) 栄養・食生活

■ 地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	マタニティサークル：妊娠中の適切な食事についての教育を実施	回数	24	20	未実施	未実施	17
		延人数	79	76	未実施	未実施	70
2	両親教室：妊娠中の適切な食事について普及・啓発を実施	回数	3	2	未実施	6	5
		組数	145	98	未実施	86	80
		人数	290	196	未実施	170	157
3	乳幼児健康診査：健診時に、食事についての教育を実施	回数	323	324	289	291	384
		延人数	10,637	10,443	10,192	9,752	9,342
4	離乳食講習会：離乳食について、調理法等を含めた講習会を開催	回数	16	14	未実施	未実施	12
		人数	292	236	未実施	未実施	96
5	食育推進教室：食生活改善推進員が保育所等へ出向き、紙芝居やエプロンシアターなどの媒体を利用して食育を推進	箇所数	30	28	14	16	17
		人数	1,872	1,319	622	608	682
6	おやこの食育教室：食生活改善推進員と協働で、小学生の親子等を対象に、食育の講話と調理実習を実施	回数	4	4	1	2	2
		組数	27	39	7	50	6
		延人数	60	80	15	93	16
7	健康教育：様々な世代の住民を対象に、健康的な生活習慣を築けるよう支援	回数	20	9	未実施	未実施	5
		延人数	449	173	未実施	未実施	60
8	栄養教室：野菜、減塩など生活習慣病予防を中心に、テーマ毎に講話と調理実習を実施	回数	24	12	未実施	未実施	2
		延人数	396	172	未実施	未実施	10
9	生涯骨太クッキング：食生活改善推進員と協働で、カルシウムの摂取量を増やすため、乳製品等を取り入れた望ましい食生活の講話と調理実習を実施	回数	1	1	未実施	3	1
		人数	16	5	未実施	37	35
10	男性料理教室：食生活改善推進員が中心となり、健康に関する講話と調理実習を実施	回数	5	5	未実施	未実施	未実施
		延人数	60	65	未実施	未実施	未実施
11	保健栄養学級：食生活改善推進員を養成する講座を開催	回数	32	32	未実施	未実施	未実施
		延人数	208	315	未実施	未実施	未実施
12	ヘルスメイト講習会：食生活改善推進員を対象に、活動を推進するための講習会を開催	回数	8	1	未実施	未実施	2
		人数	116	200	未実施	未実施	22
13	健康応援フェア（食育ブース設置）：食生活改善推進員を中心に、食に関するブースを設け、野菜摂取の推進等について啓発を実施	実施回数	1	終了	終了	終了	終了
		来場者数	400	終了	終了	終了	終了
14	シニアのための元気アップセミナー：65歳以上を対象に、食事バランスや低栄養予防の啓発と調理実習を実施	回数	7	3	未実施	未実施	未実施
		延人数	140	58	未実施	未実施	未実施

■保育こども園課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	栽培収穫実践：園児を対象に、栽培、収穫体験を通し、季節の野菜を知り、食べ物や自然に感謝の気持ちを持ってもらえるよう支援	実施園（保育所）	18	18	14	14	13
		実施園（こども園）	-	-	2	2	2
		実施園（合計）	18	18	16	16	15
2	親子クッキング・クッキング体験：保育所・こども園に通う親子を対象に、料理できる力をつけ、食への関心を高めてもらえるよう支援	実施園（保育所）	18	18	10	14	13
		実施園（こども園）	-	-	1	2	1
		実施園（合計）	18	18	11	16	14
		親子クッキング延回数	5	7	未実施	未実施	1
		クッキング体験延回数	64	61	24	23	32
3	食育の日：毎月19日の給食を和歌山食材の日として実施	実施園（保育所）	12	12	14	14	13
		実施園（こども園）	-	-	2	2	2
		実施園（合計）	12	12	16	16	15
		年回数	12	12	12	12	12

■保健給食管理課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	学校給食における食育の推進・地産地消の推進：JAわかやまと連携し、月1回「地産地消の日」とし、市内産農産物を給食に利用し、「生きた教材」として食育を実施	実施校	51	51	51	51	51
		月回数	1	1	1	1	1

■学校教育課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	JAわかやまとの連携による野菜栽培体験事業：JAわかやまと連携し、小学生を対象に、野菜を「育てる」「収穫する」「調理する」「味わう」等の体験を通して、食育を実施	実施栽培校	39	27	31	26	21
		実施栽培校（クラス数）	72	42	58	53	46
		実施栽培校（人数）	1,950	1,184	1,692	1,473	1,246
		実施調理校	16	11	6	4	6
		実施調理校（クラス数）	32	24	9	9	12
		実施調理校（人数）	858	728	257	228	379

(2) 身体活動・運動

■公園緑地課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	市管理の都市公園等の数：都市公園、市有の児童遊園・広場等を整備・開設	箇所数（都市公園）	102	103	105	127	129
		箇所数（市有児童遊園・広場）	498	517	534	522	531

■生涯学習課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	学校の体育施設開放：小・中学校のグラウンドや体育館を野球・サッカー等の使用目的のある市民に貸出	開放校数	68	68	68	68	68
		貸出回数	22,229	21,491	16,891	20,607	20,234

■学校教育課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	パワーアップチャレンジ手帳：児童・生徒を対象に、基本的な運動能力を高め、運動に親しむ力を養い、体力の向上や、生活習慣を見直すきっかけづくりに役立つ手帳を配布	人数	5,128	5,068	5,022	終了	終了

■国保年金課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	国保運動教室：生活習慣病予防のための運動実践を支援	回数	149	152	未実施	80	80
		延人数	8,848	8,400	未実施	880	1,055

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	ウォーキングイベント：気軽にできるウォーキング等の運動習慣の普及・啓発を実施	回数	1	1	未実施	1	未実施
		人数	23	29	未実施	53	未実施
2	健康ウォーキングマップの配布：ウォーキングのポイント及び市内33のウォーキングコースを掲載した「和歌山健康ウォーク」を作成し、市民に配布	部数	264	ホームページに記載	ホームページに記載	1,524	81
3	乳幼児健康診査：健診時に、体を使った遊びについて普及・啓発を実施	回数	323	324	289	290	384
		人数	10,637	10,443	10,192	9,926	9,342
4	育児サークル：親子遊びを通じ、体を使った遊びについて普及・啓発を実施	回数	99	90	3	12	33
		延人数	2,428	2,443	34	149	457
5	シニアのための元気アップセミナー：65歳以上対象に、運動器機能向上のための講話や運動実践を実施	回数	4	3	未実施	未実施	未実施
		延人数	77	67	未実施	未実施	未実施

■スポーツ振興課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	和歌山ジャズマラソン、ジョギング・ウォーキング練習会：ジョギング・ウォーキングに興味のある方が、トレーニング方法や注意点などを学習し、体調や安全に対する意識づくりに役立てる機会を提供	回数	10	10	未実施	未実施	7
		延人数	553	623	未実施	未実施	204
2	ハイキング：体育協会の協力により実施	回数	1	1	1	1	1
		人数	70	68	95	82	81
3	体育館等指定管理者によるスポーツ教室：ソフトテニス、バドミントン、卓球、硬式テニス、エアロビクスダンス、スイミング等の教室を開催	回数	546	669	361	479	738
		実人数	15,953	12,945	10,709	13,661	18,088
4	生涯スポーツ交流大会：一輪車・バドミントン・ペタンク・インディアカ等の交流会を開催	回数	13	15	10	9	14
		延人数	1,988	1,918	1,235	707	1,560
5	ふれあいスポーツ教室：スポーツ推進委員連盟の協力により、気軽にできるニュースポーツの教室を開催	回数	6	6	6	6	6
		延人数	307	239	294	262	296
6	総合型地域スポーツクラブ：地域住民が自主的・主体的に運営している、様々な種目・世代・技術レベルに対応したスポーツクラブを支援	箇所数（クラブ）	18	15	16	17	17
		箇所数（準備団体）	-	-	3	3	3

■地域包括支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	わかやまシニアエクササイズ：介護予防活動に取り組むサポーターを養成する講座を開催するなど、住民主体のグループ活動を支援	グループ数	101	109	110	109	112
		参加者数	3,122	3,334	2,544	1,891	2,124
2	WAKAYAMA つれもて健康体操：リハビリ専門職を派遣し、健康講座、体操指導、体力測定などを行い、継続した自主活動（体操）を支援	グループ数	78	92	95	102	114
		参加者数	1,592	1,563	1,392	897	1,114

(3) こころの健康

■総務企画課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	小児成育医療支援事業：こどもの発育・発達・子育ての悩み・学校に関することなど子どもや保護者の相談に対応	延人数 (相談者数)	1,416	1,025	1,076	1,313	1,671

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	発達相談：親子のコミュニケーションの重要性や子どもとの関わり方等を説明	延人数（相談者数） ※乳健時外含み	3,686	3,622	3,815	3,824	3,636
		実人数（相談者のうち 1歳6か月健診）	857	827	863	902	850
		実人数（相談者のうち 3歳児健診）	568	600	601	543	552
2	5歳児相談：年長児を対象に問診票を配布し、必要に応じて発達に関する相談に対応	対象者数	2,886	2,787	2,728	2,735	2,497
		延人数（相談者数）	157	182	171	159	138
3	子育てサポート教室 赤ちゃん広場育児サークル等：子育てに関する教室において必要な情報を提供	回数	125	114	3	12	39
		延人数	2,792	2,848	34	121	529

■子育て支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	子育てひろば：各コミュニティセンター等で、就園前の親子を対象に、親子遊びを実施し、親子が集える場を提供し、子育ての仲間づくりを推進	回数	115	109	96	100	118
		延人数	9,947	8,720	2,389	2,468	3,375
2	地域子育て支援拠点事業：育児に関する相談・指導や、子育てサークルの活動を支援し、気軽に集い交流できる場を提供	平均開所日数 (10施設)	240	219	200	261	262
		延人数	39,441	35,195	27,147	40,467	49,463
3	ファミリー・サポートセンター事業：地域においてこどもの預かりの援助を行いたい者（提供会員）と援助を受けたい者（依頼会員）からなる会員組織の運営	提供会員数	470	465	352	366	362
		スタッフ会員数 (提供会員数のうち)	282	293	278	292	290
		依頼会員数	996	1,024	988	1,007	1,028
		利用回数	2,556	2,611	1,949	2,524	2,606
4	つれもて子育て応援ブックの発行：「つれもて子育て応援ブック」を母子健康手帳交付時、転入時に配布し、子育てに関する一元的な情報提供を実施	部数	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

■男女共生推進課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	男性講座：男性と子どもが一緒に楽しめる講座を開催	回数	1	1	未実施	未実施	1
		人数	20	24	未実施	未実施	28
2	リフレッシュ講座：心や体のリフレッシュを目的とする講座を開催	回数	2	未実施	未実施	未実施	未実施
		延人数	52	未実施	未実施	未実施	未実施

■学校支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	いじめ防止、不登校解消に向けて：保護者・教職員を対象にリーフレット及び相談ダイヤルカードを配布、教職員への研修講座を開催。「いじめなくそうデー」の取組や「いじめ・不登校問題に関する検討委員会」での提言を学校と共有	回数（研修講座）	2	2	1	2	2
		人数（研修講座）	116	178	動画	130	123
		回数（検討委員会）	2	2	1	2	2
		実施校数（少年センター）	8	7	3	4	6
		回数（少年センター）	11	8	6	5	11
		人数（少年センター）	854	408	171	264	815
2	スクールソーシャルワーカーの配置：学校にスクールソーシャルワーカーを配置	人数	5	7	9	9	9
		配置校数（中学校区）	9	13	18	18	18

■保健対策課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	睡眠市民講座：うつ病の予防や睡眠の意識向上を目的に睡眠についての講演会を開催	回数	1	1	未実施	1	1※
		人数	52	71	未実施	57	64※
2	精神保健福祉に関する出前講座：市民や団体等に対し、ストレスと上手に付き合う方法や、こころの健康などに関する講座を開催	回数	15	19	6	5	10
		延人数	493	478	142	70	139
3	精神保健福祉相談及び訪問：嘱託の精神科医による精神保健福祉相談、アウトリーチ事業等を実施、随時精神保健福祉相談員・保健師による相談及び訪問を実施	回数	35	36	36	36	36
		延人数	81	90	89	101	88
		月回数	3	3	3	3	3
4	いのち支える自殺対策：和歌山市いのち支える自殺対策計画に基づき、関係機関との連携強化を図り、普及・啓発、専門職等への研修会、相談支援体制の充実、自殺未遂者支援を実施。	回数（研修会）	2	2	2	4	3
5	ゲートキーパーの養成講座：ゲートキーパーを養成	人数	220	308	135	236	164

※精神保健福祉市民講座に変更

(4) たばこ

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	妊婦への禁煙啓発：妊娠届出時に、たばこの害について情報提供し、喫煙している妊婦または家族に対し、禁煙指導を実施	妊娠届受理数※	2,780	2,698	2,500	2,369	2,380
2	マタニティサークル：たばこの害や受動喫煙についての教育を実施	回数	24	22	未実施	未実施	17
		人数	175	124	未実施	未実施	70
3	両親教室：たばこの子どもへの害についての情報を提供	回数	3	2	未実施	6	5
		組数	145	97	未実施	86	80
4	乳幼児健康診査：健診時に、たばこの害や受動喫煙、事故予防の指導を実施	回数	323	324	289	290	384
		人数	10,637	10,443	10,192	9,926	9,342
5	思春期相談：希望のあった高校の文化祭において禁煙相談を実施	校数	1	1	未実施	未実施	未実施
		回数	86	91	未実施	未実施	未実施
6	はたちのついででの啓発：たばこの害について情報提供するとともに禁煙の啓発を実施	人数	1,848	1,855	1,628	1,835	未実施

※すべて保健センターで受理

■保健給食管理課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	喫煙防止教育：小学校4、5、6年生を対象に、禁煙ボランティア（学校医）による喫煙防止教室を実施	校数	51	51	37	41	24
		回数	51	51	37	41	34

■学校支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室：小・中・高等学校において、警察、少年センターの講師による喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室を実施	校数	8	9	6	14	16
		回数	10	12	8	18	24

（5）アルコール

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	マタニティサークル：アルコールについての知識の普及と健康障害に関する情報を提供	回数	24	21	未実施	未実施	17
		延人数	175	115	未実施	未実施	70
2	両親教室：アルコールについての知識の普及と健康障害に関する情報を提供	回数	3	2	未実施	6	5
		組数	145	97	未実施	86	80
		人数	290	194	未実施	170	157

■学校支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室：小・中・高等学校において、警察、少年センターの講師による喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室を実施	校数	8	9	6	14	16
		回数	10	12	8	18	24

■保健対策課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	アルコール・薬物依存等相談：精神科医や精神保健福祉相談員等による依存症に関する相談を実施	延人数	18	38	55	60	28
2	健康応援フェア（啓発ブース設置）：こころの健康に関するパネルを展示、パンフレットを配布、アルコールパッチテストを実施	部数（パンフレット配布数）	350	終了	終了	終了	終了

（6）歯と口腔の健康

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	妊婦歯科健康診査：開業歯科医院での口腔内診査を実施	人数	440	460	390	440	470
2	マタニティサークル：口腔ケアについての講話を実施	回数	24	20	未実施	未実施	17
		延人数	79	72	未実施	未実施	70
3	両親教室：口腔ケアについての指導を実施	回数	3	2	未実施	未実施	未実施
		組数	30	18	未実施	未実施	未実施
		人数	60	38	未実施	未実施	未実施
4	乳幼児健康診査：健診時に、むし歯予防や健全な咀嚼機能の育成を推進	回数	372	346	276	251	240
		延人数	12,983	12,179	9,182	7,517	6,870
5	2歳6か月児歯科健康診査：むし歯予防や健全な咀嚼機能の育成を推進	回数	48	48	43	48	48
		人数	2,347	2,208	1,942	2,012	2,074

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
6	家族でよい歯のコンクール：3歳児歯科健康診査を受けた児とその家族を対象に良い歯の親子を表彰	組数（対象者）	7	8	未実施	未実施	未実施
		組数（対象者うち受賞者）	3	3	未実施	未実施	未実施
7	ブラッシング指導：依頼された公私立幼稚園・保育所に訪問し、歯科衛生士がパネルシアターで歯の大切さを伝え、ブラッシング指導を実施	園数	54	53	18	1	47
		人数	3,767	3,589	983	27	1,956
8	歯周病予防教室：40～64歳を対象に歯周病予防についての健康教育を実施	回数	4	4	未実施	未実施	未実施
		延人数	42	68	未実施	未実施	未実施
9	歯周病検診：満40歳・50歳・60歳・70歳を対象に無料で歯周病検診を実施	人数	799	742	637	617	589
10	シニアのための元気アップセミナー：65歳以上を対象に、口腔ケアや口腔機能の維持・向上の啓発を実施	回数	4	3	未実施	未実施	未実施
		延人数	62	56	未実施	未実施	未実施
11	健康応援フェア（歯科ブース設置）：地域住民に歯科健診及びフッ素塗布を実施し、歯科保健を啓発	来場者数（フェア1回）	400	終了	終了	終了	終了
		来場者数（うち歯科健診）	90	終了	終了	終了	終了
		来場者数（うちフッ素塗布）	49	終了	終了	終了	終了
12	歯の健康相談：口腔の健康相談を実施	延人数	63	72	113	124	106
13	歯と口の健康週間歯の健康展：歯科健診及びフッ素塗布、口腔内カメラ撮影、ブラッシング指導等を実施	回数	1	1	未実施	未実施	未実施
14	よい歯で元気な8020表彰：80歳以上で20本以上自分の歯を有する者を表彰	人数	10	10	未実施	未実施	未実施
15	街角歯科健診：「食祭」と同日に開催し、歯科健診及び、フッ素塗布、唾液潜血反応検査を実施	開催数	1	1	未実施	未実施	未実施
		受診者数（歯科健診）	355	433	未実施	未実施	未実施
		受診者数（フッ素塗布）	112	161	未実施	未実施	未実施
		受診者数（唾液潜血反応検査）	150	150	未実施	未実施	未実施

■保健給食管理課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	歯と口の健康週間に係る表彰式：歯と口の健康週間にあたり、「よい歯の児童」「よい歯の学校」及び、口腔衛生啓発のポスター・詩・標語の優秀者を表彰	人数	276	275	67	251	252

（7）介護予防

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	シニアのための元気アップセミナー：65歳以上を対象に、介護予防の健康教室を開催	回数	12	9	未実施	未実施	未実施
		延人数	213	181	未実施	未実施	未実施

■高齢者・地域福祉課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	老人クラブ育成補助事業：高齢者の社会奉仕活動、教養の向上、健康の増進など、地域で活動する老人クラブに対し助成	単位クラブ数	286	279	280	272	260

■地域包括支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	わかやまシニアエクササイズ：介護予防活動に取り組むサポーターを養成する講座を開催するなど、住民主体のグループ活動を支援	グループ数	101	109	110	109	112
		参加者数	3,122	3,334	2,544	1,891	2,124
2	WAKAYAMA つれもて健康体操：リハビリ専門職を派遣し、健康講座、体操指導、体力測定などを行い、継続した自主活動（体操）を支援	グループ数	78	92	95	102	114
		参加者数	1,592	1,563	1,392	897	1,114
3	つれもてサポート事業：介護施設でボランティア活動をした場合にポイントを付与し、貯まったポイントの数に応じて、換金等を実施	ボランティア登録数	94	99	95	94	92
		換金実績	68,000	69,000	9,000	10,000	7,000
		換金者数	32	33	2	3	3
4	家族介護教室：介護方法や介護者の健康づくり等の知識・技術の情報を提供	回数	10	10	6	5	6
		延人数	208	268	104	96	96
5	認知症サポーター養成講座：認知症の正しい理解を深め、認知症の方や家族を暖かく見守る応援者「認知症サポーター」を養成	サポーター数	19,596	22,616	23,045	24,708	27,062

（8）健康管理と重症化予防

■地域保健課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	各種がん検診等：医療機関による個別検診、検診バスによる集団検診を実施（子宮がんは個別検診のみ）	人数（胃がん）	3,297	3,259	2,359	2,831	2,865
		人数（肺がん）	9,393	9,356	8,448	9,239	10,170
		人数（大腸がん）	8,321	8,293	6,800	7,908	9,139
		人数（子宮頸がん）	11,932	11,178	11,319	10,868	11,081
		人数（乳がん）	6,221	6,058	5,010	5,789	5,925
		人数（肝炎ウイルス）	1,049	949	788	889	504
2	健康手帳の交付：40歳以上を対象に自らの健康状態（健康診査の記録、健康保持のための事項等）を記載できる手帳を交付	人数	425	831	425	358	13
3	健康教育、健康相談：生活習慣病予防や健康増進に関する健康教育・健康相談を実施	回数（健康教育）	34	30	2	1	3
		人数（健康教育）	305	238	30	25	33
		回数（健康相談）	93	68	30	25	33
		人数（健康相談）	474	413	106	85	88
4	市民公開講座：糖尿病専門医等の講演、血糖値の測定、個別相談を実施	回数	1	1	未実施	未実施	未実施
		人数	25	29	未実施	未実施	未実施

■国保年金課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	特定健康診査：メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健康診査（血液検査・心電図等）を実施	実人数	20,451	19,874	18,914	19,400	
2	特定保健指導：特定健康診査の結果、動機付け支援、積極的支援に該当する人に対し、生活習慣の改善を目的として、継続的な保健指導を実施	実人数	916	686	218	157	
3	糖尿病重症化予防教室：特定健康診査の結果、糖尿病の重症化のリスクの高い人に対して、糖尿病の病態や医療の必要性、運動や食事について学ぶ教室を開催	回数	17	15	3*	9*	18*
		実人数	92	76	11*	19*	67*
		延人数	348	280	11*	19*	76*
4	糖尿病性腎症重症化予防事業：糖尿病の重症化リスクの高い医療未受診者及び治療中断者に対する受診勧奨、糖尿病性腎症で治療中の者への保健指導	人数（受診勧奨）	87	91	48	51	41
		人数（保健指導）	16	9	12	11	8

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため個別指導で対応

■保健対策課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	結核住民健診：65歳以上を対象に無料で胸部X線検査を実施	回数	53	53	39	53	52
		人数	874	906	512	1,058	1,148
2	肝炎ウイルス検査：肝炎の早期発見及び適切な治療の推進を図るため、保健所、医療機関において肝炎ウイルス検査（B型及びC型）を無料で実施 ※肝炎ウイルス検診を受けていない者が対象	人数	205	148	191	156	123

(9) 地域の絆

■子育て支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	子育てひろば：各コミュニティセンター等、市内7会場で、就園前の親子を対象に親子遊びを実施し、親子が集える場を提供し、子育ての仲間づくりを推進	回数	115	109	96	100	118
		延人数	9,947	8,720	2,389	2,468	3,375
2	地域子育て支援拠点事業：育児に関する相談・指導や、子育てサークルの活動を支援し、気軽に集い交流できる場を提供	平均開所日数 (10施設)	240	219	200	261	262
		延人数	39,441	35,195	27,147	40,467	49,463
3	ファミリー・サポートセンター事業：地域においてこどもの預かりの援助を行いたい者（提供会員）と援助を受けたい者（依頼会員）からなる会員組織の運営	提供会員数	470	465	352	366	362
		スタッフ会員数 (提供会員数のうち)	282	293	278	292	290
		依頼会員数	996	1,024	988	1,007	1,028
		利用回数	2,556	2,611	1,949	2,524	2,606

■高齢者・地域福祉課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	老人クラブ育成補助事業：高齢者の社会奉仕活動、教養の向上、健康の増進など、地域で活動する老人クラブに対して助成	単位クラブ数	286	279	280	272	260

■地域包括支援課の取組

No	事業名・取組名：事業内容	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
1	わかやまシニアエクササイズ：介護予防活動に取り組むサポーターを養成する講座を開催するなど、住民主体のグループ活動を支援	グループ数	101	109	110	109	112
		参加者数	3,122	3,334	2,544	1,891	2,124
2	WAKAYAMA つれもて健康体操：リハビリ専門職を派遣し、健康講座、体操指導、体力測定などを行い、継続した自主活動（体操）を支援	グループ数	78	92	95	102	114
		参加者数	1,592	1,563	1,392	897	1,114

2

和歌山市の健康寿命算出に用いた定義と数値

定義：日常生活動作が自立している期間の平均

算出方法：「厚生労働研究 健康寿命のページ」に掲載されている「健康寿命の算定プログラム」を使用。

■算出に用いた和歌山市の基礎資料

人口	住民基本台帳の人口（各年9月末現在） ※男女別5歳階級別の総人口を使用	
死亡数	人口動態統計	
不健康割合の分母	0～64歳	人口
	65歳以上	介護保険の第1号保険者数（各年9月末現在）
不健康割合の分子	0～39歳	0
	40歳以上	要介護2～5の認定者数（各年9月末現在）

3

中間評価に当たって実施した調査

(1) 和歌山市が実施主体の調査

1) 5歳児相談 生活状況調査（2022(令和4)年度）

対象	市内の公私立の幼稚園、保育所、認定こども園に通う5歳児クラスの幼児
方法	各幼稚園・保育所・認定こども園を通じて保護者に配布・回収
回収数	2,521件
回収率	91.8%

2) 和歌山市生活習慣調査（2022(令和4)年度）

	①	②	③	④
対象	市立保育所3歳～5歳児クラスの幼児とその保護者	小学生	中学生	高校生
方法	各保育所・学校を通じて直接配布・回収			
回収数	670人 ・3歳児クラス197人 ・4歳児クラス234人 ・5歳児クラス230人 ・クラス不明9人	1,761人 ・1年生300人 ・2年生311人 ・3年生241人 ・4年生279人 ・5年生331人 ・6年生290人 ・不明9人	838人 ・1年生302人 ・2年生261人 ・3年生269人 ・不明6人	847人 ・1年生294人 ・2年生277人 ・3年生270人 ・不明6人 ・男：371人 ・女：469人

3) 市政世論調査（2022(令和4)年度）

対 象	満 18 歳以上の男女 2,000 人
方 法	郵送による配布・回収
回収数	950 人（内、20 歳以上 928 人：男 370 人 女 545 人）
回収率	47.5%

4) 和歌山市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（2022(令和4)年度）

対 象	要介護認定を受けていない 65 歳以上の方 4,800 人
方 法	郵送による配布・回収
回収数	3,011 件（65～74 歳 1,456 人、75 歳以上 1,539 人、不明 16 人）
回収率	62.7%

5) 和歌山市子ども・子育てニーズ調査（2018(平成30)年度）

	①	②	③
対 象	和歌山市内に居住する就学前児童の保護者（就学前保護者）2,500 人	和歌山市内に居住する小学生児童の保護者（小学生保護者）1,500 人	和歌山市内に居住する小学生・中学生・高校生約 1,000 人 （小5：365 人、中2：357 人、高2：248 人）
方 法	郵送による配布・回収		
回収数	1,155 件	688 件	970 件
回収率	46.2%	45.9%	94.7%

6) 和歌山市透析療法受療者調査（2022(令和4)年度）

対 象	2022（令和4）年3月31日現在、透析を受けている患者（在宅透析患者含む） ※医療機関が回答
方 法	透析医療機関（市内17か所、市外近隣4か所）に配布・回収
回収数	透析医療機関21件（患者数1,246人）

- ・乳幼児健康診査アンケート（4か月：540人）
- ・2歳6か月児歯科健康診査（2,074人）
- ・3歳児健康診査（2,454人）
- ・妊娠届出時アンケート（2,350人）
- ・歯周病検診（40歳：109人、50歳：147人、60歳：174人、70歳：159人）
- ・がん検診（受診者数 胃：2,865人、肺：10,170人、大腸：9,139人、子宮：11,081人、乳：5,925人）

(2) その他の調査

1) 県民健康・栄養調査（2022(令和4)年度)

実施主体	和歌山県
対 象	30 単位区の 781 世帯及び 1,950 世帯員（内、和歌山市 11 単位区 268 世帯）
方 法 * 関連調査のみ抜粋	①栄養摂取状況調査、②生活習慣・健康意識調査：訪問等で直接配布・回収
調査世帯数	360 世帯（内、和歌山市 87 世帯） 和歌山市①81 世帯 212 人②224 人（内、20 歳以上は、①161 人②173 人）

2) 特定健康診査（2022(令和3)年度)

保 険 者	①和歌山市国民健康保険 ②全国健康保険協会和歌山支部
40 歳以上の保険加入者数 （特定健康診査対象者数）	109,513 人（①54,515 人、②54,998 人）
特定健康診査受診者数	47,754 人（①19,400 人、②28,354 人）
特定保健指導対象者数	7,516 人（①2,084 人、②5,432 人）

- ・ 定期健康診断結果報告書、児童生徒の体力・運動能力調査（和歌山県教育委員会）
（小5男子：1,431 人、小5女子：1,390 人、中2男子：1,192 人、中2女子：1,071 人）
- ・ 介護保険事業状況報告（厚生労働省）
（第1号被保険者数：110,884 人）
- ・ 人口動態統計（厚生労働省）
- ・ 学校基本調査、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）
（小学生：16,738 人、中学生：7,299 人）

4

用語解説

あ行

悪性新生物

細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊したり他の臓器に転移する悪性腫瘍のこと。がんや肉腫などがこれに含まれる。

一次予防

病気（主に生活習慣病）を未然に防ぎ、健康増進を目指すこと。

栄養成分表示

食品のパッケージや料理のメニュー等に記載しているエネルギーやたんぱく質、脂質、塩分等の栄養成分の表示のこと。

NCDs

非感染性疾患(Non-communicable diseases)のことで、世界保健機関(WHO: World Health Organization)の定義では、不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒、大気汚染などにより引き起こされる、がん・糖尿病・循環器疾患・呼吸器疾患・メンタルヘルスをはじめとする慢性疾患をまとめて総称したもの。

NPO

NonProfit Organization の略称。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。

エプロンシアター

エプロンを使った人形劇のこと。

LDLコレステロール

脂肪を全身へ運ぶ役割を担っているもの。増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させるため、「悪玉コレステロール」とも呼ばれている。

か行

核家族

「夫婦のみ」「夫婦と未婚の子ども」「ひとり親と未婚の子ども」からなる小家族の世帯のこと。

共食

一人で食事をするのではなく、家族や友人、職場の人や地域の人など、誰かと一緒に食事をする事。

虚血性心疾患

心臓の筋肉（心筋）に血液を送る3本の動脈（冠状動脈）が狭くなったり、塞がったりして、心筋への血流が阻害され心臓に障害が起こる疾患のこと。狭心症や心筋梗塞などがこれに含まれる。

ゲートキーパー

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のこと。「命の門番」とも位置付けられる。

健康寿命

健康寿命	和歌山市	国・県
種類	日常生活が自立している期間の平均	日常生活に制限のない期間の平均
使用データ	介護保険の要介護データ	国民生活基礎調査データ
「健康である期間」の考え方	介護保険の要介護度1以下	健康上の問題で日常生活に何も影響がない
資料	厚生労働科学研究 健康寿命のページ 健康寿命算定プログラムにより算出	厚生労働科学研究 健康寿命のページ 都道府県別健康寿命

健康増進法

2003(平成15)年5月に、国民の健康維持と現代病予防を目的として施行された。健康寿命の延伸・生活の質の向上実現のための国民運動「健康日本21」の法的基盤であり、国民の健康づくりや疾病予防を積極的に推進するための法律のこと。

健康日本21

第三次国民健康づくり対策として、2000年から厚生省（当時）が行った一連の施策のこと。「21世紀における国民健康づくり運動」ともいう。「健康日本21（第三次）」の基本的な方向として、(1)健康寿命の延伸と健康格差の縮小、(2)個人の行動と健康状態の改善、(3)社会環境の質の向上、(4)ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり、が挙げられている。

合計特殊出生率

女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が生涯に産むこどもの数の平均のこと。

行動変容

物事に対する関心を身につけ、行動が維持されるまでの流れや変化のこと。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

高齢者の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を行うために、健康状態の不明な高齢者を把握し、必要な医療・福祉サービスにつないでいくことや、集いの場等を活用した健康教育を行うことで高齢者の介護予防に取り組む事業のこと。

さ行

G-Pネット (General Physician-Psychiatrist Network)

うつ病患者等の早期発見・早期治療につなげることを目的とし、一般診療科医と精神科医の連携方法を明確にしたシステムのこと。

周産期うつ

出産前後に発症するうつ病のこと。以前は産後うつと呼ばれていたが、出産前からすでにうつ状態になっている事例が多く、周産期うつと呼ばれるようになった。

受動喫煙

他人の吸っているたばこの煙を吸ってしまうこと。

食育

様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

職域

職業の領域のこと。職場のこと。

職能団体

専門的資格や技術や知識を持つ専門職の従事者らが、自己の専門性の維持・向上、専門職としての待遇や利益を保持・改善したり、専門職同士の親睦や互助を行ったり、専門職の団結による社会的提言や社会貢献、研究などの活動を行うための組織のこと。

人工透析

病気などの影響で腎臓の機能が著しく低下したときに、人工腎臓を使って老廃物や不要な水分を除去する治療法のこと。

信頼区間

区間推定において、信頼性のある確率（信頼係数）のもとで母集団がその内に含まれるであろうと推定された範囲のこと。

スクールカウンセラー

学校に配置され、児童・生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して指導・助言を行う臨床心理士などの専門職のこと。

スクールソーシャルワーカー

福祉の専門性をもち、児童・生徒の最善の利益を保障するために、学校などにおいてソーシャルワークを行う専門職のこと。

た行

第1号被保険者

国民年金の被保険者の種別。20歳以上60歳未満の自営業者・学生・無職者など、国民年金のみに入入している人のこと。

胎児性アルコール症候群

飲酒していた妊婦から生まれた赤ちゃんにみられる症候群のこと。具体的に、特徴的な顔面の奇形、身体発育の遅れ、中枢神経の問題、という3つの特徴が現れる。

地域包括支援センター

介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関のこと。主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士等の専門職が配置されている。

つどいの家

市民の方に空き部屋を提供してもらい、高齢者の交流の場として活用している場所のこと。

糖尿病性腎症

糖尿病の合併症の一つ。高血糖状態が続くことにより、腎臓の機能が損なわれる状態のこと。進行すると透析治療が必要になる。

糖尿病療養指導士

糖尿病の治療にあたり、医師とともに患者さんの自己管理（療養）を指導する医療スタッフのこと。

特定給食施設

厚生労働省が定めている栄養管理が必要な特定の人に対して継続して1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設のこと。学校、病院、事業所、福祉施設などがこれに含まれる。

特定健康診査

40歳以上75歳未満のすべての被保険者・被扶養者を対象に実施されるメタボリックシンドロームの減少に着目した健康診査のこと。

特定保健指導

健診結果から自らの健康状態を把握し、生活習慣改善のための行動目標を自ら設定・実施できるよう、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が個々人の特性やリスクに配慮した支援を行うこと。

な行

二次予防

病気の早期発見・早期治療を行うことで病気の進行や合併症を予防すること。

乳幼児突然死症候群

元気に育っていた生後1年未満のこどもが前兆や病歴がないにも関わらず、突然死にいたる原因不明の病気のこと。

認知症サポーター

認知症に関する正しい知識と理解をもち、地域や職域で認知症の人やその家族を支援する人のこと。認知症サポーターになるには、各地域で実施している「認知症サポーター養成講座」を受講する必要がある。

年齢調整死亡率

年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率のこと。第2次計画までは昭和60年モデル人口、第3次計画からは平成27年モデル人口を基準人口とする。

脳血管疾患

脳の血管の障害による病気の総称。脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などがこれに含まれる。

ノルディックウォーキング

ヨーロッパは北欧フィンランドにおいてスタートした2本のポールを使ったウォーキングのこと。通常のウォーキングに比べて、下半身だけでなく上半身（腕や背中）の筋肉も使用する全身運動のため、身体にある90%以上の筋肉を意識して使うことができる。

は行

パブリックコメント

政策等の策定途中で、事前にその計画等の素案を市民に公表し、それに対して意見、課題、問題点、情報等をいただき、提出された意見等を考慮して政策等を決定していくとともに、寄せられた意見とそれに対する市の考え方を公表する制度のこと。

肥満度

こどもの肥満を評価する指標。標準体重に対して実測体重が何%上回っているかを示すもので、 $(\text{実測体重} - \text{標準体重}) / \text{標準体重} \times 100 (\%)$ で算出される。幼児では肥満度 15%以上は太りすぎ、20%以上はやや太りすぎ、30%以上は太りすぎとされ、学童では肥満度 20%以上を軽度肥満、30%以上を中等度肥満、50%以上を高度肥満という。

フッ素洗口

歯のエナメル質表面に、フッ化物を作用させる方法で、永久歯のむし歯予防を目的に濃度の低いフッ化ナトリウム溶液を口に入れ、洗口（ぶくぶくうがい）をする方法のこと。

平均寿命

0歳時において平均してあと何年生きられるかという指標。0歳の平均余命のこと。

ポピュレーションアプローチ

集団に対して健康障害へのリスク因子の低下を図る方法。集団全体への早期アプローチにより影響力が大きくなり、多くの人々の健康増進や疾病予防に寄与しうる。

ま行

民生委員・児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人のことで、児童委員を兼ねている。

メタボリックシンドローム

腹囲が男性 85cm以上、女性 90cm以上の人で、高血糖・高血圧・脂質異常症の危険因子を2つ以上あわせ持った状態のこと。

メタボリックシンドローム予備群

腹囲が男性 85cm以上、女性 90cm以上の人で、高血糖・高血圧・脂質異常症の危険因子を1つが当てはまった状態のこと。

メンタルヘルス

精神面における健康のこと。こころの健康、精神衛生、精神保健と称され、主に精神的な疲労、ストレス、悩み、などの軽減・緩和とそれらへのサポート、うつ病などのこころの病気（精神疾患）の予防のこと。

メンタルヘルスリテラシー

精神健康の向上、精神疾患の予防、早期発見・診断、治療の継続や回復のそれぞれの土台として必要な力やスキルのこと。

や行

要支援

介護保険法に基づく介護サービスを受ける際の分類の一つ。日常生活の能力はあり、間接介助と機能訓練程度を必要とする認定区分。要支援1と要支援2の2つの区分が設けられている。

要介護

介護保険法に基づき介護サービスを受ける際の分類の一つ。身体上もしくは精神上の障害があるために入浴、排泄、食事等の日常生活における基本的な動作に介護が必要な状態。要介護1から要介護5までの5段階に分けられる。

要介護認定

介護保険からサービスを受けるために、介護や日常生活に支援が必要な状態であるかどうかを判定すること。

ら行

ライフステージ

人間の一生における乳幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、高齢期などのそれぞれの段階のこと。

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）

運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態のこと。これにより要介護となるリスクが高いと言われている。

5

健康わかやま21推進協議会条例

（設置）

第1条 本市に、和歌山市健康わかやま21推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第2条 協議会は、次に掲げる事務をつかさどる。

- （1）21世紀における市民健康づくり運動（第3号において「健康わかやま21」という。）の基本計画（次号において「計画」という。）に基づく措置の進捗の状況について検証すること。
- （2）計画の案について調査審議し、市長に意見を述べること。
- （3）その他健康わかやま21の推進に関し市長が必要と認める事項

（組織）

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- （1）保健及び医療に関する学識経験を有する者又はその関係者
- （2）地域組織団体が推薦する者
- （3）関係行政機関の職員
- （4）市職員
- （5）その他市長が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 協議会の会議（以下この条において単に「会議」という。）は、会長が招集する。ただし、委員の全員が新たに委嘱され、又は任命された後最初に招集すべき会議は、市長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して会議への出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提供を求めることができる。

（守秘義務）

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第8条 協議会の庶務は、健康局健康推進部において処理する。

（委任）

第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

6

和歌山市健康わかやま21推進協議会委員名簿

2023(令和5)年6月現在

	氏名	所属等
会長	野村 康晴	和歌山市医師会会長
副会長	藤吉 朗	和歌山県立医科大学 医学部衛生学講座
委員	阪井 哲司	和歌山市薬剤師会会長
委員	金田 章	和歌山市老人クラブ連合会理事
委員	椋代 正洋	和歌山市歯科医師会 常務理事
委員	川村 護	NPO法人日本健康運動指導士会 和歌山県支部長
委員	西村 征男	和歌山市自治会連絡協議会副会長
委員	須佐 光佐子	和歌山市女性会議連絡会会長
委員	瀬戸 美行	和歌山市食生活改善推進協議会会長
委員	根木 一輝	和歌山商工会議所 総務部参事
委員	伊藤 智子	和歌山県栄養士会理事
委員	東 睦広	日本赤十字社和歌山医療センター 精神科部長
委員	津田 祐子	和歌山県立医科大学 小児成育医療支援室講師
委員	池下 哲平	和歌山市保育所保護者会連合会 副会長
委員	松下 奈菜	和歌山市小学校PTA連合会 女性部長
委員	瀧口 久美子	和歌山市中学校PTA連合会 副会長
委員	宇治田 ちひろ	和歌山県養護教諭研究会 和歌山支部長
委員	利根 功一	和歌山市教育局長
委員	高垣 睦子	和歌山市健康局長
委員	笠松 美恵	和歌山市保健所長

(敬称略)

7

和歌山市健康わかやま21（第3次計画）策定経過

	日程	議題及び内容
第23回	2023(令和5)年6月29日(木)	チャレンジ健康わかやま計画書の骨子(案)について ●健康わかやま21(第2次)の最終評価
第24回	2023(令和5)年8月31日(木)	健康わかやま21(第2次)計画の最終評価について ●健康わかやま21(第2次)の最終評価 ●健康わかやま21(第3次)の概要・推進
第25回	2023(令和5)年10月19日(木)	健康わかやま21(第3次)計画(案)について ●健康わかやま21(第3次)の分野別の指標と目標値及び分野別の取組
第26回	2023(令和5)年12月20日(水)	健康わかやま21(第3次)計画(案)について ●ライフコースアプローチについて
第27回	2024(令和6)年2月15日(木)	健康わかやま21(第3次)計画案確定について ●全分野最終確認 ●パブリックコメントについて

チャレンジ健康わかやま (健康わかやま21 (第3次))

2024(令和6)年3月

編集・発行 和歌山市保健所 地域保健課
〒640-8137 和歌山市吹上5丁目2番15号
TEL : 073-488-5119 FAX : 073-431-9980